

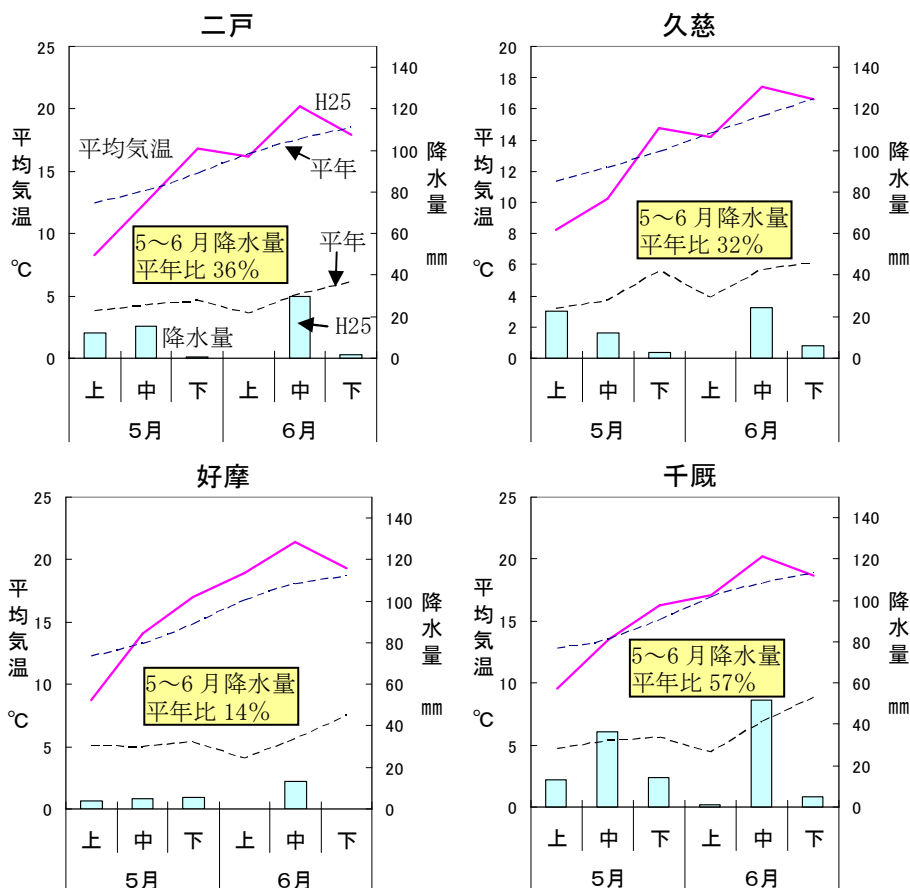
平成25年5～6月の少雨における畑地かんがい効果事例

平成 25 年 10 月
農 村 計 画 課

1 平成 25 年 5 ～ 6 月の気象概況

平成 25 年の 5 ～ 6 月は記録的な少雨となり、県内では、气象台の観測史上、最も降水量が少なかった地点が多数ありました。

この少雨により、農作物への影響が懸念されましたが、畑地かんがい施設を利用しているほ場では、定植後の枯死や初期生育の遅延はほとんど見られず、順調に生育しました。



【アメダス地点の旬別の気象値】

2 畑地かんがい効果

畑地かんがい（施設）は、農作物の栽培に「必要な水」を、「必要な時」に、「必要な分だけ」供給することができ、雨が極端に少なくても適期の定植が可能となり、収量・品質の向上、安定化が実現できます。

さらに、高収益作物の導入や防除作業の省力化など、様々な効果が期待できます。

畑地かんがいの効果

計画的な作付け	高収益作物導入が可能
発芽・初期生育の促進	団地化・産地形成が可能
収量・品質の向上、安定化	農機具の洗浄
防除作業の省力化	表土飛散の防止



3 平成 25 年 5～6 月の少雨における畑地かんがいの効果事例

きゅうり



【かん水方法】

- ・ 定植前：散水チューブ
- ・ 定植以降：点滴かん水

【効果】

- ・ 定植前のかん水で、活着が順調
- ・ 点滴かん水で、草勢が良好で、初期生育が安定

(事例：野田村⑤、一関市⑬、二戸市①
(数字は P4 地区No. 以下同様))

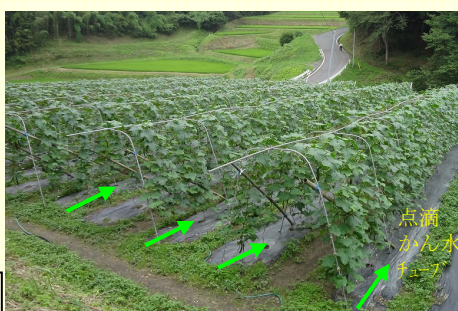
点滴かん水装置の導入により、水不足による生育遅延が見られず、初期生育順調



定植前の散水チューブかん水

6 月上旬の定植時期に少雨でほ場が乾燥していたため、散水チューブで全面かん水し、定植作業を実施
⇒定植後の活着順調

(写真：二戸市)



点滴かん水利用のほ場(8月の様子)

(写真：一関市)



点滴かん水制御装置

ピーマン



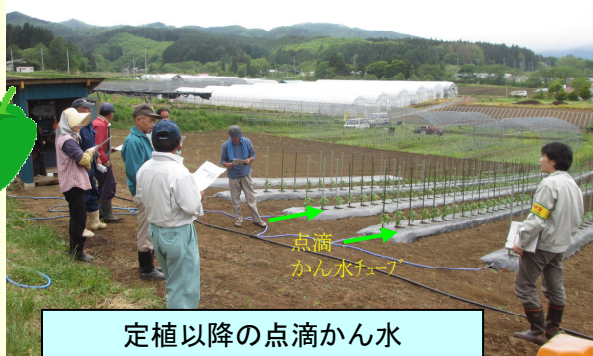
【かん水方法】

- ・ 定植以降：
点滴かん水
スプリンクラー

【効果】

- ・ 定植時・直後のかん水で、活着が順調
- ・ 点滴かん水、スプリンクラーによる散水で、初期生育が安定し、生育遅延も防止

(事例：九戸村②、岩手町⑦)



定植以降の点滴かん水

定植時期(5月下旬～)やその後、活着期(6月上旬)に降雨が少なかったため、定植以降かん水を継続して実施
⇒定植後の活着・初期生育順調

(写真：九戸村)

レタス



【かん水方法】

- ・ 定植時、定植後：
散水チューブ
スプリンクラー

【効果】

- ・ 定植時・定植後のかん水で、活着及び初期生育が順調、枯死株も減少
- ・ 収量 約 4,835 kg/10a (7月収穫、一戸町奥中山事例)

[無かん水ほ場の約 120%]

(事例：一戸町⑩、⑪、⑫)



定植後のスプリンクラーかん水

定植時・定植後に朝、夕にかん水を継続
⇒定植後の活着順調・枯死株が減少

(写真：一戸町)

ほうれんそう

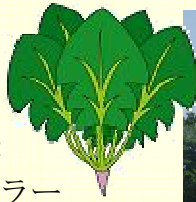
【かん水方法】

- ・ 播種時、生育初期：
スプリンクラー

【効 果】

- ・ 出芽の揃い良好
- ・ 出芽後も適時かん水し、
初期生育が安定

(事例：普代村⑥)



生育初期のスプリンクラーかん水

(写真：普代村)

ねぎ

【かん水方法】

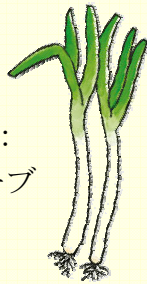
- ・ 定植時、生育初期：
散水チューブ

【効 果】

- ・ 定植後の活着順調
- ・ 初期生育が安定

(事例：九戸村②)

(写真：九戸村)



定植時の散水チューブかん水

にんじん

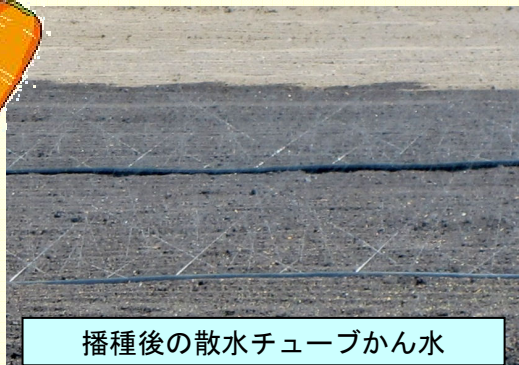
【かん水方法】

- ・ 播種時：
散水チューブ

【効 果】

- ・ 出芽の揃い良好

(調査事例：岩手町⑦、軽米町③)



播種後の散水チューブかん水



少雨でも順調な出芽

(写真：軽米町)

りんご

【かん水方法】

- ・ 干ばつ時：
散水チューブ
ホース
スプリンクラー
(5月以降約1週間毎)

【効 果】

- ・ 果実の肥大良好 (無かん水ほ場では、小玉傾向)
- ・ 改植箇所の幼木では、樹の生育が良好

(事例：一関市⑬、二戸市①)



散水チューブ

干ばつ時の散水チューブかん水

(写真：二戸市)



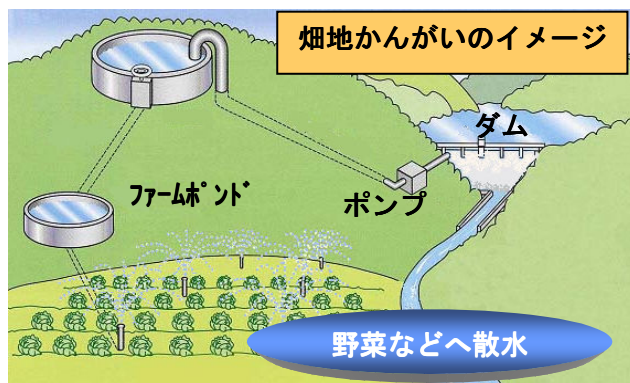
散水チューブ

改植ほ場で干ばつ時に散水
⇒幼木の定着が良好

4 県内の畑地かんがい施設の整備状況（県営畑地帯総合整備事業等）

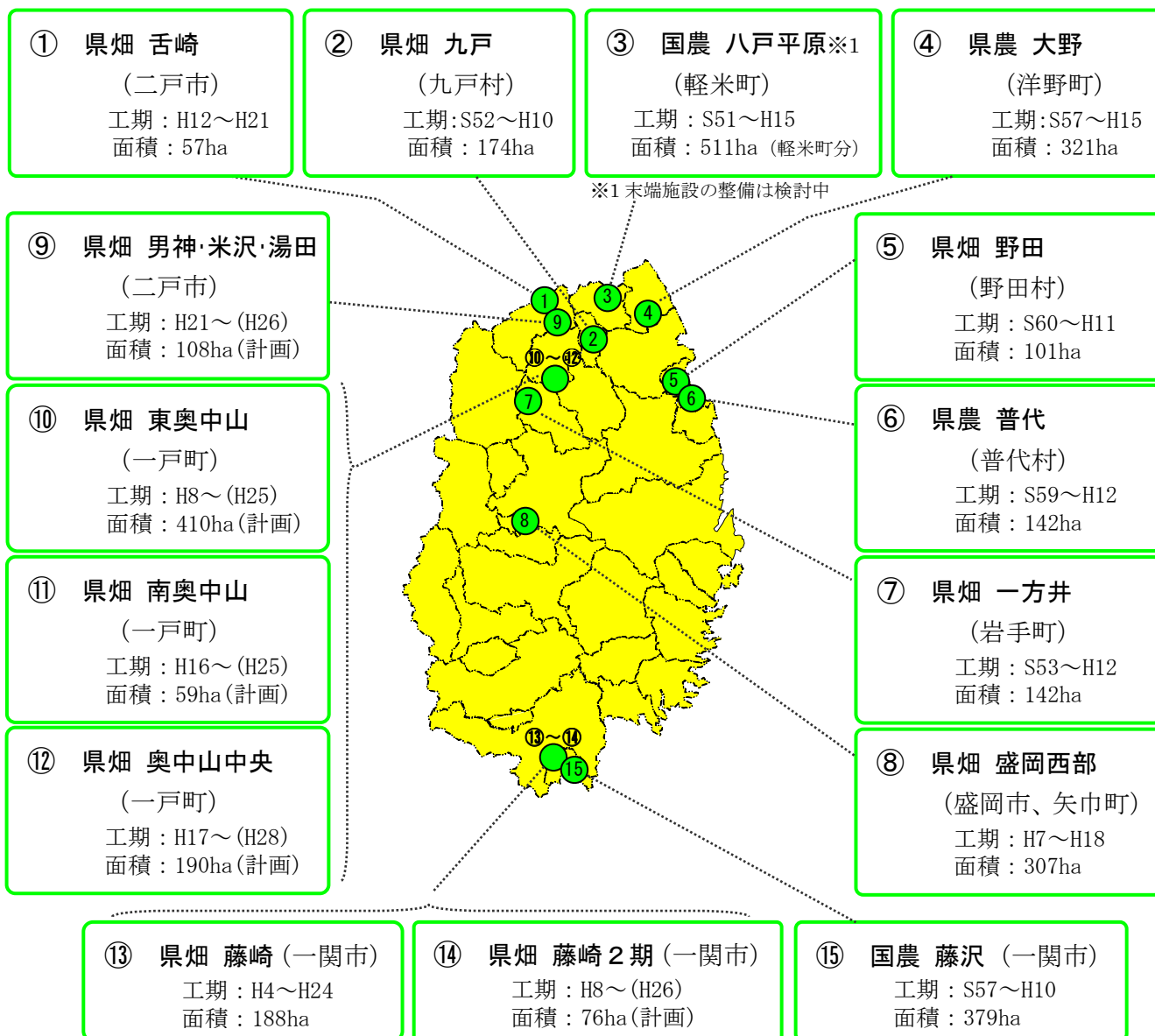
本県では、県北や県南部の畑地帯を中心に約 2,400ha の畑地かんがい施設が整備されています（H24 年末）。

岩手県の整備率は 2.8% で、全国（21.6%）や東北（8.0%）と比較し、大きく立ち遅れています（H22 年末）。



【岩手県の畑地かんがい施設の整備状況】

	現況面積 (H24 年末)	目標面積 (H30)
畑地かんがい 面積 ha	2,389	2,500



※ 県畑：畑地帯総合整備事業、県農：県営農地開発事業、国農：国営農地開発事業